

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
14時07分56秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00707	路線調書更新事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	50	安全で快適な道路整備							
予算事業	10663	01	08	02	01	02	01	01	路線調書更新事業（道路橋梁総務費）
所属長	長 紳一郎			担当者（内線）岡野昭宏（IP501-320）					
根拠法令等	道路法第28条								
事業開始年度	昭和59年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市内の市道		
目標	市道の基礎的な情報を把握し、道路管理事務の円滑化を図り、速やかな情報提供を行う。		
結果	現況台帳平面図更新・道路台帳調書更新（地方交付金に関する報告書作成のため） 道路台帳平面図更新・認定路線一覧表更新・認定路線網図更新（日常業務における照会対応のため） 道路法第28条に基づき、市が管理する道路の台帳を調製し保管する。		
事業概要			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	㈱バスコ大阪支店
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	測量、システムデータの更新
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	8,000	7,995	8,000	7,992	8,000
人件費職員数(人)	0.45	0.50	0.45	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	3,677	3,950	3,624	8,052	7,945
総事業費(A+B)	11,677	11,945	11,624	16,044	15,945
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	11,677	11,945	11,624	16,044	15,945
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	11,677	11,945	11,624	16,044	15,945
財源計(C+D)	11,677	11,945	11,624	16,044	15,945

所属	道路室
事務事業番号	00707

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	調書作成に必要な測量延長	m	目標値	2,000.00	2,000.00	2,000.00
			実績値	2,000.00	2,000.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	調書作成に必要な測量延長	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5.97	8.02	
			一般財源(千円)	5.97	8.02	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	道路台帳調書整備済み市認定道路延長	m	目標値	533,455.30	534,354.60	534,527.30
			実績値	532,354.60	532,527.30	
			達成度(%)	99.80	99.70	
目標値の積算方法	道路台帳調書整備済み市認定道路延長	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.02	0.03	
			一般財源(千円)	0.02	0.03	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	現況台帳平面図更新、道路台帳調書更新、道路台帳平面図更新、認定路線一覧表更新、認定路線網図更新を行うにあたり、専門的な技術、経験、知識を要し、測量コンサルタントに委託をすることで効率的、効果的に成果を得ることができ、市民に対して速やかな情報の提供が可能となり、市民サービスの向上と、適切な道路の資産管理を行うことができる。

## 事務事業分析シート

所属名	道路室	事業名	路線調査更新事業	事業区分	その他
事務事業番号	00707				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	98	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	道路室	事務事業番号	00707
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>現況台帳平面図更新、道路台帳調書更新、道路台帳平面図更新、認定路線一覧表更新、認定路線網図更新を行うにあたり、専門的な技術、経験、知識を要し、測量コンサルタントに委託をすることで効率的、効果的に成果を得ることができ、市民に対して速やかな情報の提供を行う事ができ市民サービスの向上と、適切な道路の資産管理を行うことができ、道路法に基づく事業であり今後も継続して行う。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
14時08分25秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00708	市道認定・廃止事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり		
細節	50	安全で快適な道路整備		
予算事業	10664	01	08	02
		01	02	02
		01	02	01
		市道認定・廃止事業（道路橋梁総務費）		
所属長	長 紳一郎		担当者（内線）波多野 彰（IP501-315）	
根拠法令等	道路法第8条 路線認定基準要綱			
事業開始年度	不明	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	認定または廃止を行おうとする道路		
目標	市道認定・廃止に必要な図面の作成を行う		
結果	市道認定・廃止に必要な図面		
事業概要	市道の認定や、廃止するための手続きに必要な図面を作成する		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	㈱水成コンサルタント
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	図面の作成
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,000	1,512	2,000	1,782	2,000
人件費職員数(人)	0.45	1.50	0.45	1.50	0.45
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	3,677	11,850	3,624	12,078	3,576
総事業費(A+B)	5,677	13,362	5,624	13,860	5,576
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	5,677	13,362	5,624	13,860	5,576
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,677	13,362	5,624	13,860	5,576
財源計(C+D)	5,677	13,362	5,624	13,860	5,576

所属	道路室
事務事業番号	00708

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	測量対象区域面積	m	目標値	1,000.00	1,400.00	1,400.00
			実績値	820.00	1,200.00	
			達成度(%)	82.00	85.70	
目標値の積算方法	測量完了区域面積	単位当たりコスト	総事業費(千円)	16.30	11.55	
			一般財源(千円)	16.30	11.55	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	対象路線の土地所有者から所有権の寄附又は使用貸借契約が成立した市道への認定や既存市道の認定を廃止するための手続に必要な図面を作成させるものである。	目標	市道への認定や既存市道の認定を廃止するための手続に必要な図面の作成を行う
成果内容	市道への認定や既存市道の認定を廃止するための手続に必要な図面	達成状況	本事業は市道認定及び既存市道の廃止の件数により作業量や委託料が左右されるものであり、予算執行ができない場合もある

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明	本事業は、対象路線の土地所有者から所有権の寄附或使用貸借契約が成立した場合に、現地測量等を行う業務であり、市道認定及び既存市道の廃止の件数により作業量が左右され、年度によっては積算通りの予算執行が難しい場合もあるが、市道認定及び既存市道の廃止が生じれば、現地を測量し市道認定、廃止に必要な図面の作成が必須となるため、今後も継続する必要がある。また、この作業には、専門的な技術、経験、知識を要するため、測量コンサルタントに委託することで効率的、効果的に成果を得ることができている。	

## 事務事業分析シート

所属名	道路室	事業名	市道認定・廃止事業	事業区分	その他
事務事業番号	00708				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	道路室	事務事業番号	00708
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、対象路線の所有権の寄附や使用貸借契約が成立した場合に、路線認定及び既存路線の廃止が生じれば、現地を測量し路線認定、廃止に必要な図面の作成を行うため、専門的な技術、経験、知識を要し、測量コンサルタントに委託することで効率的、効果的に成果を得ることができている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
14時09分22秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00709	用地図面作成事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	50	安全で快適な道路整備							
予算事業	10665	01	08	02	01	02	03	01	用地図面作成事業（道路橋梁総務費）
所属長	長 紳一郎				担当者（内線）波多野 彰（IP501-315）				
根拠法令等	道路法第16条、建築基準法第42条								
事業開始年度	不明	直近の改正		なし					
改正内容	なし不明								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	幅員4m未満の市道であり、かつ建築基準法第42条第2項の道路後退部分		
目標	道路後退部分の所有権を市に移転する		
結果	市道の幅員が拡幅されることにより交通の安全と円滑に資する		
事業概要	幅員4m未満の市道であり、かつ建築基準法第42条第2項の道路に接する土地所有者から道路後退部分の土地の寄附を受ける場合に、寄附部分の所有権を移転するために必要な調査及び用地図面の作成を行う		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	㈱橋本測地設計事務所
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		用地調査、測量及び図面作成
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	29,000	28,238	29,000	27,859	29,000
人件費職員数(人)	0.60	1.00	0.60	1.00	0.60
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,902	7,900	4,832	8,052	4,767
総事業費(A+B)	33,902	36,138	33,832	35,911	33,767
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	33,902	36,138	33,832	35,911	33,767
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	33,902	36,138	33,832	35,911	33,767
財源計(C+D)	33,902	36,138	33,832	35,911	33,767

所属	道路室
事務事業番号	00709

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	寄附の申請件数	件	目標値	60.00	50.00	50.00
			実績値	51.00	34.00	
			達成度(%)	85.00	68.00	
目標値の積算方法	寄附申込件数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	708.59	1,056.21	
			一般財源(千円)	708.59	1,056.21	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	寄附の申し込みがあった場合、必要な調書や図面を作成する。	目標	道路後退部分の所有権を市に移転し、道路の拡幅をすることにより交通の安全を確保する。
成果内容	市道の幅員が拡幅されることにより、交通の安全を確保する。	達成状況	申請件数に対する申込件数の達成度は70%弱である。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	本事業は現地を測量し用地寄附に必要な図面の作成を行うため、専門的な技術、経験、知識を要し、測量コンサルタントに委託をすることで効率的、効果的に成果を得ることができる。また、幅員4m未満の市道であり、かつ建築基準法第42条第2項の道路後退部分の寄附に伴い、市道の幅員が拡幅されることにより、交通の安全と円滑化に資する効果もある。

## 事務事業分析シート

所属名	道路室	事業名	用地図面作成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00709				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特別市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	道路室	事務事業番号	00709
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>現地を測量し、用地寄附による必要な図面の作成を行うため、専門的な技術、経験、知識を要し、測量コンサルタントに委託をすることで効率的、効果的に成果を得ることができる。また、幅員4m未満の市道かつ建築基準法第42条第2項の道路後退部分の寄附に伴ない、市道の幅員が拡張され交通の安全と円滑化が図れている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 8日  
09時24分46秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00710	不法投棄回収事業			
章	06	安全で魅力的なまちづくり			
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり			
細節	50	安全で快適な道路整備			
予算事業	10666	01	08	02	01 03 01 01 不法投棄回収事業（道路橋梁総務費）
所属長	長 紳一郎		担当者（内線）真鍋忠克（106）、尾崎龍樹（314）		
根拠法令等	道路法、家電リサイクル法、自動車リサイクル法				
事業開始年度	昭和54年度	直近の改正	平成24年度		
改正内容	平成24年度放棄車両費用の寄附終了 平成14年度家電リサイクル対象品目の追加（液晶・プラズマテレビ、衣類乾燥機）				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市道上に投棄されている特定家庭用機器、自動車等		
目標	速やかに回収し、通行空間を確保		
結果	道路の保全と交通の安全確保		
事業概要	道路パトロール及び市民からの通報等で発見された市道上に投棄、放置されている当該物件（特定家庭用機器・自動車等）を各法令に基づき、回収、処分を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	大道商事㈱
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	放置されている当該物件の回収、運搬、処分
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,405	479	1,400	192	1,293
人件費職員数(人)	1.50	1.30	1.50	1.50	1.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	12,255	10,270	12,078	12,078	11,918
総事業費(A+B)	13,660	10,749	13,478	12,270	13,211
特定財源(C)	0	0	0	23	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	23	0
市負担(D)	13,660	10,749	13,478	12,247	13,211
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	13,660	10,749	13,478	12,247	13,211
財源計(C+D)	13,660	10,749	13,478	12,270	13,211

所属	道路室
事務事業番号	00710

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	不法に投棄、放置されている特定家庭用機器・自動車等の回収台数。	台	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	55.00	58.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	年度の特定家庭用機器・自動車等の回収台数の総計。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	195.44	211.55	
			一般財源(千円)	195.44	211.16	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	不法に投棄、放置されている特定家庭用機器・自動車等の回収、処分を行う。	目標	発見、通報を受けたら可能な限り速やかに回収する。
成果内容	道路の保全	達成状況	確認が取れる物件への対応は100% (活動指標の達成度)

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	原因者が不明の不法投棄物について、速やかに回収することにより、通行空間・安全・景観の確保を行っており、道路管理上、不法投棄が無くなるまでこの事業は継続せざるを得ないと考えます。

## 事務事業分析シート

所属名	道路室	事業名	不法投棄回収事業	事業区分	その他
事務事業番号	00710				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	96	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	道路室	事務事業番号	00710
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>件数は長期的にみると年々減少傾向にあるが、いまだに投棄されているのが現状である。道路管理上、不法投棄が無くなるまで必要な事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
14時10分18秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00711	すいた地籍調査官民境界等先行型促進事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	50	安全で快適な道路整備							
予算事業	10668	01	08	02	01	04	01	01	すいた地籍調査官民境界等先行型促進事業（道路橋梁総務費）
所属長	長 紳一郎				担当者（内線）岡野 昭宏（IP501-320）				
根拠法令等	国土調査法、測量法、地籍調査作業規程準則								
事業開始年度	平成20年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市道に接する土地所有者との道路境界標及び基準点		
目標	官民境界等先行調査の成果を基に、地権者等に対し基礎的な境界情報を速やかに提供することが可能となり、管理する道路区域が明確にされ、道路管理行政の円滑化が図れる		
結果	境界標のデータの一元管理を図り、メンテナンスが容易になる。筆界の確定、全庁GISの資料として有効な成果が得られる		
事業概要	官民境界について測量等を行い、地図の数値化データや図面データを作成し、基礎的情報の調査を行う		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	㈱共栄テック
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	基準点測量、境界点測量
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	9,325	9,185	9,325	8,645	9,325
人件費職員数(人)	0.60	1.00	0.60	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,902	7,900	4,832	8,052	7,945
総事業費(A+B)	14,227	17,085	14,157	16,697	17,270
特定財源(C)	6,990	6,885	6,990	6,480	6,990
国	0	0	0	0	0
府	6,990	6,885	6,990	6,480	6,990
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	7,237	10,200	7,167	10,217	10,280
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	7,237	10,200	7,167	10,217	10,280
財源計(C+D)	14,227	17,085	14,157	16,697	17,270

所属	道路室
事務事業番号	00711

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	測量する調査面積	km <sup>2</sup>	目標値	0.44	0.38	0.36
			実績値	0.44	0.36	
			達成度(%)	100.00	94.70	
目標値の積算方法	測量した調査予定面積	単位当たりコスト	総事業費(千円)	38,829.55	46,380.56	
			一般財源(千円)	23,181.82	28,380.56	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	官民境界について測量を行い、地図の数値化データや図面データを作成し、基礎的情報の調査を行う。	目標	管理する道路区域の座標値を地権者等に対して速やかに提供する。管理する道路区域が明確にされ、道路管理行政の円滑化が図られる
成果内容	道路境界標等のデータの一元化を図ることで、境界標のメンテナンスが容易になる。道路境界の確定、全庁型GISの資料として有効な成果を得られる。	達成状況	市内30町目の道路について、調査済みであるが、補助金事業でもあるため、調査面積は、補助金額により左右される。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	市道に接する土地所有者との道路境界標及び基準点の測量には、専門的な技術、経験、知識を要し、測量コンサルタントに委託をすることで効率的、効果的に成果を得ることができ、市民に対し基礎的な境界情報を速やかに提供することが可能となり、また、管理する道路区域が明確にされ適切な道路の資産管理を行うことができるため、道路管理行政の円滑化が図れる。さらに、土地境界をめぐるトラブルの未然防止や災害時に復旧の迅速化が図れる。		

## 事務事業分析シート

所属名	道路室	事業名	すいた地籍調査官民境界等先行型促進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00711				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞り等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	道路室	事務事業番号	00711
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>道路境界標及び基準点の測量を測量コンサルタントに委託をすることで効率的、効果的に成果を得ることができている。また全市域で事業完了はしていないが、事業の進捗により少しずつであるが、市民に対し基礎的な境界情報が速やかに提供され、さらに、管理する道路区域が明確にされ適切な道路の資産管理を行うことが可能となり、道路管理行政の円滑化が図れつつある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 8月14日  
17時12分15秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00712	北大阪健康医療都市管理事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり		
細節	50	安全で快適な道路整備 02 00 北大阪健康医療都市管理事業		
予算事業	10670	01	08	02   02   01   01   09   吹田操車場跡地管理事業（道路維持費）
所属長	長 紳一郎		担当者（内線）眞鍋忠克（IP501-106）	
根拠法令等	道路法			
事業開始年度	平成25年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	北大阪健康医療都市（健都）		
目標	吹田操車場跡地道路施設の適正な維持管理		
結果	安心安全な通行と道路施設の適切な維持管理		
事業概要	吹田操車場跡地道路施設の光熱水費及び委託料（電気設備等点検、保安・警備・清掃、樹木管理）による維持管理		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	三菱電機ビルテクノサービス㈱
		委託先②	（一社）吹田市障がい者の働く場事業団
		委託先③	（公社）吹田市シルバー人材センター 他
		主な委託内容	電気設備等点検、保安・清掃、樹木維持管理
	□ 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
□ その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	65,733	47,548	64,351	49,579	58,278
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	2,416	2,347	2,384
総事業費(A+B)	68,184	49,918	66,767	51,926	60,662
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	68,184	49,918	66,767	51,995	60,662
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	68,184	49,918	66,767	51,995	60,662
財源計(C+D)	68,184	49,918	66,767	51,995	60,662

所属	道路室
事務事業番号	00712

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	吹田操車場跡地道路施設の維持管理	目標	道路施設の適正な維持管理
成果内容	安心安全な通行と道路施設の適切な維持管理	達成状況	年度ごとに適正な維持管理を行っている

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	施設等の維持管理のための光熱水費の支出及び各種施設の保守点検、清掃及び緑道管理等を委託により実施しており、適正な維持管理を行うことで、良好な道路環境及び通行空間を維持していくため、今後も継続していく必要がある。		

## 事務事業分析シート

所属名	道路室	事業名	北大阪健康医療都市管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00712				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
内部管理	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	道路室	事務事業番号	00712
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田操車場跡地道路施設の光熱水費及び委託料(電気設備点検、保安・警備・清掃、樹木管理)による維持管理であるが、今後さらに高質な維持管理を目指していくため、新たな予算の確保が必要となってくる可能性がある。道路経常管理事業において実施している他の管理施設に係る予算とのバランスも見極めながら、限られた予算の中で効率的に実施できるよう、方法を検討していきたい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
14時11分14秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00713	路線道路補修事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	50	安全で快適な道路整備							
予算事業	10671	01	08	02	02	02	01	01	路線道路補修事業（道路維持費）
所属長	長 紳一郎			担当者（内線）荒井 猛嗣（IP501-104）					
根拠法令等	道路法、道路構造令								
事業開始年度	不明	直近の改正			なし				
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	市認定道路、市管理道路及び道路施設		
目標	良好な道路維持管理を行うため、道路施設の破損箇所の迅速な補修		
結果	歩行者、自転車及び車両の安全な通行の確保		
事業概要	市が管理している道路及び道路施設について、緊急性、安全性を考慮し、経年劣化や破損している箇所の補修及び改良工事（平成28年度より、道路維持管理事業及び側溝補修事業と統合）		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	吹田土木興業㈱
		委託先②	岩本工業㈱
		委託先③	八生建設㈱
	主な委託内容		道路施設の維持補修工事
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	222,288	217,944	239,160	225,675	229,160
人件費職員数(人)	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	24,510	23,700	24,156	24,156	23,835
総事業費(A+B)	246,798	241,644	263,316	249,831	252,995
特定財源(C)	0	3,086	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	3,086	0	0	0
市負担(D)	246,798	238,558	263,316	249,831	252,995
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	246,798	238,558	263,316	249,831	252,995
財源計(C+D)	246,798	241,644	263,316	249,831	252,995

所属	道路室
事務事業番号	00713

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	市が管理している道路及び道路施設について、経年劣化や破損している箇所の補修及び改良工事	目標	道路の適切な維持管理
成果内容	市民要望に適切に対応し、道路の維持を行っている。	達成状況	必要に応じた対応

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費はおおよそ適当であるが増額を検討する余地もある。なぜなら、現在、予算の範囲内で対応しているが、工事の次年度送りの発生や管理道路延長の増加を考慮すると、現状の予算では次年度への積み残しが増大し、市民への道路行政への不満や事故発生リスクが懸念されるためである。事業費削減及び財源確保に向けた取組として、対象範囲の見直し等が必要である。具体的には、効率的な工法の採用と必要箇所への投資を明確にすべきである。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、事業費が低いことにより活動量を確保できていないが、現状の人員体制を加味すると、予算の微増による継続が必要である必要な事業である。</p>		

## 事務事業分析シート

所属名	道路室	事業名	路線道路補修事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00713				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		e. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
(5) 持続可能性 (20点)	12	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	道路室	事務事業番号	00713
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

道路構造物の経年劣化の進行に加え、管理対象施設が増加しており、より効果的な補修が求められる。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>供用中の市管理道路における補修を実施することから、市民の安心安全なまちづくりを進めるうえで、必要不可欠な事業となる。管理対象施設が増加していることも含め、今後も効率的かつ効果的に実施することが求められる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
14時11分44秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00714	狭小幅員整備事業						
章	06	安全で魅力的なまちづくり						
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり						
細節	50	安全で快適な道路整備						
予算事業	10672	01	08	02	02	02	01	狭小幅員整備事業（道路維持費）
所属長	長 紳一郎				担当者（内線）岩田 憲治（IP501-102）			
根拠法令等	道路法、道路構造令							
事業開始年度	不明	直近の改正		なし				
改正内容	なし							
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）							

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	寄付を受けた道路用地		
目標	寄付を受けた道路用地を含めた付近の整備により道路幅員を拡幅する		
結果	道路幅員の拡幅により、安全で快適な通行を確保する		
事業概要	建築工事による市道の後退や、所有の用がなくなり寄付を受けた道路用地について、その付近も含めて路肩や舗装の整備をすることにより、道路幅員を拡幅し歩行者・自転車及び車両の安全な通行を確保する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	㈱エーユー
		委託先②	㈱関根工務店
		委託先③	
		主な委託内容	道路拡幅の整備工事
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	25,000	29,498	25,000	20,697	25,000
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	29,085	33,448	29,026	24,723	28,973
特定財源(C)	0	11	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	11	0	0	0
市負担(D)	29,085	33,437	29,026	24,723	28,973
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	29,085	33,437	29,026	24,723	28,973
財源計(C+D)	29,085	33,448	29,026	24,723	28,973

所属	道路室
事務事業番号	00714

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	狭小幅員整備事業	目標	道路拡幅による通行の安全確保
成果内容	寄付等に伴い道路整備を実施	達成状況	寄付等に伴い拡幅

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：土地の寄附件数や整備面積(延長)は、土地所有者の土地利用の意向やその土地の大きさや形状により大きく変動することから、1会計年度での事業費を算出することは困難であるため。)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の評価を踏まえると、一路線全体ではなく個人所有地の寄附等に伴う部分的な改善ではあるが、通行者の安全性・利便性の向上などの事業効果が出ており、事業費も適当であるため、今後も継続することが妥当であるが、工事費の一部を助成する方法で運用している自治体もあることから、本市においても助成制度への移行も検討する必要がある。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	道路室	事業名	狭小幅員整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00714				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

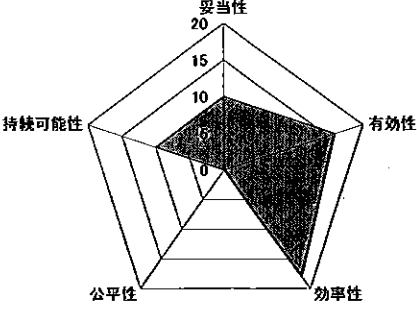
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	10	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		c. 市が必ずしも関与する必要がない事業である。(1点)	1点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
評価点合計 (100点満点)	67	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	道路室	事務事業番号	00714
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

道路構造物の経年劣化の進行に加え、大型開発事業により管理対象施設が増加しており、より効果的な補修が求められる。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	 <p>The radar chart displays scores for five criteria on a scale of 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性 (Justification) at 18, 有効性 (Effectiveness) at 15, 効率性 (Efficiency) at 5, 公平性 (Fairness) at 5, and 持続可能性 (Sustainability) at 10.</p>		
(3)現状分析	<p>個人所有地の市へ寄付された土地の舗装及び排水構造物の設置により、道路利用者にとって安全性・利便性が格段に向上するため、事業効果は高いと考えられる。他市では、整備工事費用に対する助成金の交付等により事業実施しているところもある。本市においても、同様の実施手法に変更するなど、予算縮減の可能性について検討していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
14時12分12秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00716	路側帯安全対策事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	50	安全で快適な道路整備							
予算事業	10674	01	08	02	02	03	01	01	路側帯安全対策事業（道路維持費）
所属長	長 紳一郎			担当者（内線）伊内 勉（IP501-108）					
根拠法令等	交通安全施設等整備事業の推進に関する法律、道路法								
事業開始年度	平成19年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	小学校の通学路及び歩車分離のない市道		
目標	歩道の設置が困難な道路における歩行者通行帯の明確化		
結果	視覚による通行区分の明確化により、歩行者の安全を確保		
事業概要	小学校の通学路及び歩車道分離のされていない市道について、路側外側を緑色（グリーンウォーク）に塗装し、歩行者と車両通行部分の色分けを行うことにより、互いの安全に対する注意を促し、道路通行の安全性を高める。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	岩本工業㈱
		委託先②	吹田土木興業㈱
		委託先③	八生建設㈱
		主な委託内容	常温塗布式舗装工事
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	6,520	2,088	6,520	6,179	6,520
人件費職員数(人)	0.30	0.50	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	3,950	2,416	2,416	2,384
総事業費(A+B)	8,971	6,038	8,936	8,595	8,904
特定財源(C)	0	1,189	0	3,234	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	1,189	0	3,234	0
市負担(D)	8,971	4,849	8,936	5,361	8,904
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,971	4,849	8,936	5,361	8,904
財源計(C+D)	8,971	6,038	8,936	8,595	8,904

所属	道路室
事務事業番号	00716

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	路側帯安全対策事業	目標	通行の安全確保
成果内容	グリーンウォークの設置	達成状況	必要に応じた対応

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	道路の安全な通行確保のために必要な事業である。

## 事務事業分析シート

所属名	道路室	事業名	路側帯安全対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	00716				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	82	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	道路室	事務事業番号	00716
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>Detailed description of the radar chart: The chart has five axes representing different evaluation criteria. The outermost ring is labeled with scores 0, 5, 10, 15, and 20. The '妥当性' (Appropriateness) axis reaches 15. The '有効性' (Effectiveness) axis reaches 10. The '効率性' (Efficiency) axis reaches 5. The '公平性' (Fairness) axis reaches 5. The '持続可能性' (Sustainability) axis reaches 5.</p>		
(3)現状分析	<p>地元からの要望に伴い新規整備を行うとともに、劣化した箇所メンテナンスが必要となる。このため、今後は維持補修費の増大を考慮し、整備路線の選定条件の精査が必要となる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
14時12分41秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00717	路線道路舗装事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	50	安全で快適な道路整備							
予算事業	10675	01	08	02	03	01	01	01	路線道路舗装事業（道路舗装費）
所属長	長 紳一郎							担当者（内線）	荒井 猛嗣（IP501-104）
根拠法令等	道路法								
事業開始年度	不明	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり）   ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理   ● 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	交通荷重や経年劣化により損傷した市道		
目標	市道の道路舗装面を良好な状態に保つ		
結果	交通の安全性及び快適性の向上		
事業概要	市道について、道路舗装面の交通荷重や経年劣化による損傷状況により、道路の重要度、優先度を考慮し、舗装の更新を行う。 また、道路ストック総点検事業における路面性状調査の結果から、修繕が必要な区間の舗装の更新を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	請負工事による市施工	

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	145,000	139,312	151,300	131,977	141,379
人件費職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	16,104	16,104	15,890
総事業費(A+B)	161,340	155,112	167,404	148,081	157,269
特定財源(C)	10,725	21,755	15,500	11,164	3,800
国	10,725	21,755	15,500	11,164	3,800
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	150,615	133,357	151,904	136,917	153,469
地方債	0	0	0	0	121,700
その他	0	0	0	0	0
一般財源	150,615	133,357	151,904	136,917	31,769
財源計(C+D)	161,340	155,112	167,404	148,081	157,269

所属	道路室
事務事業番号	00717

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	市内各路線の道路舗装の新設及び改良を行う	目標	道路施設機能の改良を行い、安全で快適な道路環境整備を促進して、社会生活の安全性及び利便性の向上を図る
成果内容	施工12路線	達成状況	平成29年度23,402㎡

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適当である。なぜなら、現状の舗装状態や修繕計画を考慮すると、平準化した修繕が実施できていると考えられるためである。事業費削減及び財源確保に向けた取組として、対象範囲の見直しと交付金の積極的活用が挙げられる。具体的には、補修と修繕の適時の実施により長寿命化を図り、よってトータルコストの削減を目指す。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

2018/6/715:11

所属名	道路室	事業名	路線道路舗装事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00717				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	道路室	事務事業番号	00717
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>毎年、市民からの要望や路面性状調査等から、機能低下した市道舗装の復旧必要箇所が多数あげられ、限られた予算のなかで計画的に修繕を進めている。道路の機能は供用開始から徐々に低下する中、道路管理レベルを一定に保つことは、利用者への安全はもちろん、舗装の長寿命化(トータルコスト低減)につながる。そのためには、継続的なメンテナンスが必要と考えられる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
14時13分17秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00718	私道舗装助成事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	50	安全で快適な道路整備							
予算事業	10676	01	08	02	03	02	01	01	私道舗装助成事業（道路舗装費）
所属長	長 紳一郎		担当者（内線）尾崎龍樹（IP501-314）						
根拠法令等	吹田市私道舗装工事助成金交付要綱								
事業開始年度	昭和50年	直近の改正	平成26年						
改正内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市と施工業者との施工単価協定の廃止</li> <li>助成金の条件額の設定</li> </ul>								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input checked="" type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他			
対象	要綱に適合する市内の私道舗装工事を行う者			
目標	私道舗装工事の助成による私道の整備・改善			
結果	私道の整備による生活環境の改善			
事業概要	市内の私道舗装工事を行う者からの問合せがあれば、現地立会及び現地調査を行い、要綱に適合するかどうか確認する。工事完了後に市の検査を実施し、予算の範囲内で補助を行う（工事費の4分の3又は500,000円のいずれか少ない額。）。			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①		
		委託先②		
		委託先③		
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容		
		交付先①	私道舗装工事助成金交付申請者	
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,400	500	1,400	1,400	1,400
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	2,217	1,290	2,206	2,206	2,195
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,217	1,290	2,206	2,206	2,195
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,217	1,290	2,206	2,206	2,195
財源計(C+D)	2,217	1,290	2,206	2,206	2,195

所属	道路室
事務事業番号	00718

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	問合せ件数	件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	2.00	9.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	私道舗装工事助成金交付要綱に適合すれば、工事費を助成し、所有者負担を軽減する。また、私道利用者の安全と利便性向上を図る。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	645.00	245.11	
			一般財源(千円)	645.00	245.11	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	公共性が高く市道に準じる私道に対して、私道舗装工事助成金交付要綱に適合すれば工事費の4分の3又は500,000円のいずれか少ない額を助成し、所有者負担の軽減を行う。	目標	私道を利用する通行者の安全性及び利便性の向上を図る。
成果内容	問い合わせ件数9件	達成状況	助成件数3件

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	市認定道路の舗装改良要望に十分応えられていない財政状況ではあるが、助成要望はあり、事業効果が高く、併せて申請者の評価も良好なため、他市の動向も視野に入れながら事業の継続を検討する必要がある。		

## 事務事業分析シート

所属名	道路室	事業名	私道舗装助成事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00718				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意欲が薄れていませんか。	
		b. 実施意欲は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	道路室	事務事業番号	00718
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市への寄附等が困難で、公共性が高く市道に準じる私道に対して舗装工事の助成を行い、私道所有者の負担を軽減することができる。                      助成を行うことにより、通行者の利便性と住環境の整備が向上し、安全で快適な生活道路の整備が図られる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
14時15分20秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00719	道路新設改良事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	50	安全で快適な道路整備							
予算事業	10678	01	08	02	04	01	01	01	道路新設改良事業（道路新設改良費）
所属長	長 紳一郎				担当者（内線） 鳥越 満広（IP501-104）				
根拠法令等	道路法								
事業開始年度	不明	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	市内一般道路		
目標	道路機能を改良する		
結果	交通の安全性及び快適性の向上		
事業概要	市内各地の道路の新設・改良を行う。 また、新設改良時に交通安全上必要な用地を取得する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	協和設計㈱
		委託先②	㈱中央技術コンサルタンツ
		委託先③	㈲井伊測量設計事務所
	主な委託内容		道路工事の設計
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
■ その他	内容	請負工事による市施工	

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	10,446	5,712	30,553	6,182	50,724
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	14,531	9,662	34,579	10,208	54,697
特定財源(C)	0	0	0	886	9,511
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	886	9,511
市負担(D)	14,531	9,662	34,579	9,322	45,186
地方債	0	0	0	0	22,100
その他	0	0	0	0	0
一般財源	14,531	9,662	34,579	9,322	23,086
財源計(C+D)	14,531	9,662	34,579	10,208	54,697

所属	道路室
事務事業番号	00719

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	整備路線数	件	目標値	2.00	1.00	0.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	50.00	100.00	
目標値の積算方法	実施計画に基づく整備路線数 (工事、設計、用地取得等の各路線合計)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	9,662.00	10,208.00	
			一般財源(千円)	9,662.00	9,322.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	市内各路線の道路施設の改良を行う。	目標	道路施設機能の改良を行い、安全で快適な道路環境整備を促進して、社会生活の安全性及び利便性の向上を図る。
成果内容	安全で快適な交通環境づくりを行うことにより、社会生活の利便性及び安全性の向上を図る。	達成状況	多数の要望等の中、必要箇所において道路の新設・改良を順次行っており、引続き整備を行っていく必要がある。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は、適切である。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>	

## 事務事業分析シート

所属名	道路室	事業名	道路新設改良事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00719				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×125(小数点以下切捨て))	

所属名	道路室	事務事業番号	00719
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>事業効果を、直接的に数値で表すことができず、事業について評価しづらい点がある。                  しかし、社会基盤施設である道路のサービス水準を高めることは必要不可欠であり、特に、快適な移動空間を整備することは、移動時間の短縮や移動の安全性を図ることができ、市民生活の向上につながることから、今後も引き続き、事業実施していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 8日  
11時54分37秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00720	都市計画道路十三高槻線（正雀工区）取付道路新設事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	50	安全で快適な道路整備							
予算事業	10679	01	08	02	04	02	01	01	都市計画道路十三高槻線（正雀工区）取付道路新設事業（道路新設
所属長	長 紳一郎			担当者（内線）鳥越 満広（IP501-104）					
根拠法令等	道路法								
事業開始年度	平成23年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input checked="" type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	都市計画道路十三高槻線（正雀工区）取付道路 （市道吹東町29号線、30号線）		
目標	都市計画道路十三高槻線の取付道路である本市道を整備する		
結果	①都市計画道路十三高槻線の整備促進   ②沿道事業所等への出入機能の確保等   ③都市計画道路豊中岸部線完成までの期間の岸部方面へのアクセス機能の確保		
事業概要	市道吹東町29号線、30号線は、大阪府が実施している都市計画道路十三高槻線（正雀工区）の整備後における交通利便性の向上等を目的として、十三高槻線にあわせて用地買収及び道路築造工事を実施するものである。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	大阪府土地開発公社
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	道路事業用地の取得
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	215,168	2,985	216,764	154,382	143,875
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	219,253	6,935	220,790	158,408	147,848
特定財源(C)	218,378	3,030	219,999	156,687	146,022
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	218,378	3,030	219,999	156,687	146,022
市負担(D)	875	3,905	791	1,721	1,826
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	875	3,905	791	1,721	1,826
財源計(C+D)	219,253	6,935	220,790	158,408	147,848

所属	道路室
事務事業番号	00720

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	道路事業用地の取得	m	目標値	840.00	840.00	0.00
			実績値	0.00	661.68	
			達成度(%)	0.00	78.80	
目標値の積算方法	平成23年度～30年度までの8か年で用地3,100m <sup>2</sup> を取得する(当初26年度までに取得予定だったが、取得困難により延長)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	239.40	
			一般財源(千円)	0.00	2.60	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	都市計画道路十三高機線(正雀工区)の取付道路である本市道を整備する	目標	道路用地を取得し、その後、整備を行う
成果内容	本市道を整備することにより、都市計画道路十三高機線(正雀工区)取付道路の利便性等が向上する	達成状況	平成29年度末現在、道路用地の取得率は約94%

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。事業費については、費用の全額を大阪府からの負担金で実施している。</p> <p>【今後の方向性】 事業費の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続するべきである。</p>		

## 事務事業分析シート

所属名	道路室	事業名	都市計画道路十三高機線(正省工区)取付道路新設工事	事業区分	建設事業
事務事業番号	00720				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
b. 実施意義は今もある。(3点)	3点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
e. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	84	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	道路室	事務事業番号	00720
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>輸送機能の充実、移動時間の短縮及び災害時の多重性・代替性を確保するための都市計画道路十三高槻線(正雀工区)の早期完成のためには、本取付道路の整備が必要不可欠である。このため、重点的に、本取付道路新設を推進していく必要がある。このような中で、現在、事業用地の取得に努めているところであり、今後も引き続き、事業用地の取得を行い、都市計画道路十三高槻線(正雀工区)にあわせて、整備を行う必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

大阪府が実施している都市計画道路十三高槻線(正雀工区)が、平成26年4月に一部供用開始された。今後、全線完成に向けて、取付道路事業(本事業)の早期完成を目指す必要がある。

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
14時16分20秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00721	交通安全施設整備事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	30	誰もが安全で快適な交通環境づくり							
予算事業	10688	01	08	02	06	01	01	01	交通安全施設整備事業（交通安全施設整備費）
所属長	長 紳一郎			担当者（内線）伊内 勉（IP501-108）					
根拠法令等	交通安全施設等整備事業の推進に関する法律・交通安全施設等整備事業に関する緊急措置法・交通安全対策基本								
事業開始年度	昭和41年度		直近の改正		平成22年度				
改正内容	ゼロクリアにより交差点改良事業・道路照明整備事業・反射鏡設置事業・道路区画線整備事業・防護柵施設整備事業を統合								
市単独事業区分	○ 全部 ● 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり） 交通安全対策特別交付金								

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	市認定道路、市管理道路及び道路施設		
目標	道路交通に関する安全の向上		
結果	交通事故の減少により、安心・安全に暮らすことができる		
事業概要	市内各路線における歩道段差解消、道路照明、反射鏡、区画線、防護柵等設置工事		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	㈱ノーブルグループ
		委託先②	㈱西部安全
		委託先③	㈱三野商店
	主な委託内容		交通安全施設の整備
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	50,000	48,006	50,000	49,955	50,000
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	58,170	55,906	58,052	58,007	57,945
特定財源(C)	50,000	37,549	50,000	37,137	50,000
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	50,000	37,549	50,000	37,137	50,000
市負担(D)	8,170	18,357	8,052	20,870	7,945
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,170	18,357	8,052	20,870	7,945
財源計(C+D)	58,170	55,906	58,052	58,007	57,945

所属	道路室
事務事業番号	00721

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	交通安全施設等整備事業	目標	通行の安全確保
成果内容	歩道段差解消、道路照明、反射鏡、区画線、防護柵等設置工事	達成状況	必要性に応じて実施

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	継続して交通安全施設を整備することにより、交通事故の防止や交通の円滑化をはかり安心して暮らしていけるよう事業実施を行う。

## 事務事業分析シート

所属名	道路室	事業名	交通安全施設整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00721				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	98	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	道路室	事務事業番号	00721
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>交通安全施設の新規設置及び施設の経年劣化による危険な箇所の緊急補修等、直接市民の安全にかかわる事業のため迅速な対応が求められている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
14時20分39秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00722	橋梁新設改良事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	50	安全で快適な道路整備							
予算事業	10689	01	08	02	07	01	01	01	橋梁新設改良事業（橋梁新設改良費）
所属長	長 紳一郎			担当者（内線）真鍋忠克（IP501-106）					
根拠法令等	道路法								
事業開始年度	不明	直近の改正		なし					
改正内容	なし								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	橋梁及び横断歩道橋		
目標	橋梁等の新設及び改良 長寿命化計画、耐震補強計画、橋梁定期点検結果等に基づく補修・補強		
結果	安全で快適な移動空間の形成 予防保全型の維持管理によるコスト縮減		
事業概要	吹田市が管理する橋梁の撤去、新設、耐震補強、改良工事及びこれらの設計業務を行う。 平成8年度に橋梁耐震補強計画、平成24年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定、平成28年度より橋梁定期点検を実施している。これらの計画及び点検結果に基づき、計画的な補修対策を実施する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	パシフィックコンサルタンツ㈱
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		工事の設計
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
■ その他	内容	請負工事による市施工	

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	111,165	101,952	58,707	50,898	61,138
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	115,250	105,902	62,733	54,924	65,111
特定財源(C)	22,770	37,574	11,300	17,888	4,950
国	22,770	37,574	11,300	17,888	4,950
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	92,480	68,328	51,433	37,036	60,161
地方債	16,700	27,500	8,300	13,100	23,500
その他	0	0	0	0	0
一般財源	75,780	40,828	43,133	23,936	36,661
財源計(C+D)	115,250	105,902	62,733	54,924	65,111

所属	道路室
事務事業番号	00722

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	橋梁長寿命化修繕計画等に基づく修繕対策の実施数	橋	目標値	5.00	4.00	6.00
			実績値	5.00	4.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	実施計画に基づく修繕対策実施橋梁数(調査設計、補修工事等の橋梁数合計)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	21,180.40	13,731.00	
			一般財源(千円)	8,165.60	5,984.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
調査・補修設計業務の成果を補修工事に反映させる。補修工事を実施し、橋梁の長寿命化を図る。	達成状況 計画していた4橋(補修設計1橋、補修工事2橋、工事委託1橋)を適正に実施でき、完遂できた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	安心・安全への市民意識の高まり、国の防災への取組強化など、必要性は増加しており、部の重点課題として今後も取り組んでいく。 防災・安全に資する事業として交付金も配分されるので、積極的に活用し、コスト縮減を図りつつ安心安全の確保を目指す。

## 事務事業分析シート

所属名	道路室	事業名	橋梁新設改良事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00722				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	道路室	事務事業番号	00722
-----	-----	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市が管理する橋梁は、現在179橋あり、このうち重要度の高い道路橋34橋については1970年代を中心に架設されており、建設から50年を経過する高齢化橋梁が今後急速に増加する。</p> <p>今後増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに対応するため、従来の対症療法型から予防保全型へ転換を図り、長寿命化修繕計画を平成24年度に策定した。平成25年度から、この計画に基づく対策を実施することで、コスト縮減及び安全性の確保を目指す。</p> <p>また、安心・安全への市民意識の高まり、国の防災への取組み強化など、必要性は増加している。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
14時21分51秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00724	街路灯経常管理事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	50	安全で快適な道路整備							
予算事業	10696	01	08	04	01	01	01	01	街路灯経常管理事業（街路灯整備費）
所属長	長 紳一郎							担当者（内線）伊内 勉（IP501-108）	
根拠法令等	道路法								
事業開始年度	不明	直近の改正		なし					
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	市が管理する街路灯（防犯灯）約20,000台		
目標	街路灯の適正な維持管理		
結果	安全な通行と防犯		
事業概要	街路灯の維持管理のための光熱水費、委託料（街路灯台帳更新）及び消耗品購入		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	内外エンジニアリング㈱ 大阪支社
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		街路灯台帳作成
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	電気料金	

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	133,931	101,055	113,163	88,307	103,913
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	2,416	2,416	2,384
総事業費(A+B)	136,382	103,425	115,579	90,723	106,297
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	136,382	103,425	115,579	90,723	106,297
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	136,382	103,425	115,579	90,723	106,297
財源計(C+D)	136,382	103,425	115,579	90,723	106,297

所属	道路室
事務事業番号	00724

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	街路灯の電気料金の支払いと街路灯台帳整備	目標	街路灯の適正な維持管理
成果内容	維持補修により、街路灯(防犯灯)の維持管理を行っている	達成状況	通行の安全性が確保されている

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	費用の内訳は、街路灯の電気料金がほぼ100%を占めている。夜間や地下道トンネルにおける安全通行上必要不可欠な事業である。		

## 事務事業分析シート

所属名	土木部	事業名	街路灯経常管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00724				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
④公平性を確保するための取組をしていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	土木部	事務事業番号	00724
-----	-----	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>費用内訳は、街路灯の電気料金がほぼ100%を占めている。夜間や地下道トンネルにおける安全通行上、必要不可欠な事業である。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
14時22分19秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00725	街路灯（防犯灯）補修事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり		
細節	50	安全で快適な道路整備		
予算事業	10697	01	08	04
所属長	長 紳一郎	01	02	01
根拠法令等	道路法	街路灯（防犯灯）補修事業（街路灯整備費）		
事業開始年度	不明	直近の改正 なし		
改正内容	なし			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	市が管理する街路灯（防犯灯）約20,000台		
目標	街路灯の適正な維持管理		
結果	安全な通行と防犯		
事業概要	街路灯（防犯灯）の維持管理		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	日本設備工業㈱
		委託先②	三光電気工業㈱
		委託先③	末廣電気工業㈱ 他
	主な委託内容		街路灯設置、管球取替等
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	174,297	158,318	44,884	44,770	44,928
人件費職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	16,104	16,104	15,890
総事業費(A+B)	190,637	174,118	60,988	60,874	60,818
特定財源(C)	0	12	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	12	0	0	0
市負担(D)	190,637	174,106	60,988	60,874	60,818
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	190,637	174,106	60,988	60,874	60,818
財源計(C+D)	190,637	174,118	60,988	60,874	60,818

所属	道路室
事務事業番号	00725

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	街路灯(防犯灯)の新設及び補修工事、管球取替等	目標	街路灯の適正な維持管理
成果内容	維持補修により、街路灯(防犯灯)の維持管理を行っている	達成状況	通行の安全性が確保されている

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	市内街路灯の維持管理と共に新規設置や照度アップなどの要望も多く、夜間や地下道トンネルにおける安全通行に必要不可欠な事業である。

## 事務事業分析シート

所属名	土木部	事業名	街路灯(防犯灯)補修事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00725				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
内部管理	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	土木部	事務事業番号	00725
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>新規設置や照度アップのための補修の要望も多く、夜間や地下道トンネルにおける安全通行に必要不可欠な事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 8日  
10時27分43秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00726	道路受託復旧事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり		
細節	50	安全で快適な道路整備		
予算事業	10699	01	08	04 02 02 01 01 道路受託復旧事業（受託工事費）
所属長	長 紳一郎	担当者（内線）竹内 健造（IP501-102）		
根拠法令等	道路法；吹田市道路占用工作物工事執行規則			
事業開始年度	不明	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	道路占用工事等に伴う掘削工事者		
目標	道路構造の保全		
結果	一元的な道路管理		
事業概要	道路占用工事等に伴う掘削工事跡の路面復旧工事		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	吹田土木興業株
		委託先②	和興建設工業㈱
		委託先③	八生建設㈱ 他
		主な委託内容	舗装工事
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	232,514	231,597	309,533	301,030	251,370
人件費職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	16,104	16,104	15,890
総事業費(A+B)	248,854	247,397	325,637	317,134	267,260
特定財源(C)	243,854	216,870	320,637	297,453	262,260
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	243,854	216,870	320,637	297,453	262,260
市負担(D)	5,000	30,527	5,000	19,681	5,000
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,000	30,527	5,000	19,681	5,000
財源計(C+D)	248,854	247,397	325,637	317,134	267,260

所属	道路室
事務事業番号	00726

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	受託復旧工事	件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	438.00	567.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	申請に基づき工事施行するため、目標値の設定が困難であることから0件とする	単位当たりコスト	総事業費(千円)	564.83	559.32	
			一般財源(千円)	69.70	34.71	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	道路占用工事等に伴う掘削工事跡の路面復旧工事	目標	道路構造の保全
成果内容	適切な道路状況の維持	達成状況	一元的な道路管理が実施できている

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	道路構造を適切に維持、保全していくにあたり、一元的に管理する必要がある。		

事務事業分析シート

2018/6/715.12

所属名	道路室	事業名	道路受託復旧事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00726				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	8	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		c. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1点
(2) 有効性 (20点)	8	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		c. 事業の目的と受益者はずれている。(1点)	1点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	62	④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	62	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	道路室	事務事業番号	00726
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	一元管理により、適切な道路構造の維持、保全に努めている。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
14時23分21秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00727	街路樹等維持管理事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり		
細節	50	安全で快適な道路整備		
予算事業	10738	01	08	05
所属長	長 紳一郎	07	01	01
根拠法令等	道路法	街路樹等維持管理事業（緑化維持費）		
事業開始年度	不明	担当者（内線）谷口英之（IP501-106）		
改正内容	なし	直近の改正 なし		
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	市が管理する街路樹等		
目標	安全で快適な道路整備		
結果	道路機能の向上と道路環境の安全		
事業概要	街路樹等の維持管理 （平成26・27・28年度に執行した樹木健全度緊急調査事業について、分析結果が、全ての視点（妥当性・有効性・効率性・公平性・持続可能性）について適正であり、かつ道路法施行規則に基づき5年に1度継続して事業を実施すべきです。しかし、緊急度は低くなることから樹木健全度緊急調査事業は廃止することとし、今後は本事業に統合し執行します）		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	㈱日本海緑化 吹田支店
		委託先②	㈱井畑造園土木 吹田支店
		委託先③	㈱理研グリーン 大阪支店 他
	主な委託内容	除草及び樹木剪定等	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	144,441	222,112	254,367	239,383	205,208
人件費職員数(人)	1.20	1.50	1.50	1.50	1.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	9,804	11,850	12,078	12,078	11,918
総事業費(A+B)	154,245	233,962	266,445	251,461	217,126
特定財源(C)	594	603	715	700	700
国	0	0	0	0	0
府	594	0	0	0	0
その他	0	603	715	700	700
市負担(D)	153,651	233,359	265,730	250,761	216,426
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	78,000	66,000	58,000	0
一般財源	153,651	155,359	199,730	192,761	216,426
財源計(C+D)	154,245	233,962	266,445	251,461	217,126

所属	道路室
事務事業番号	00727

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	街路樹等の維持管理	目標	安全で快適な道路整備
成果内容	道路機能の向上と道路環境の安全性	達成状況	年度毎に除草・剪定の執行

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	道路等の除草及び剪定は通行の安全及び環境保持また、まちに潤いを与えるため必要不可欠な事業です。毎年開発等により管理面積増で業務量は増大し、予算は今の財政事情から縮小しており、更なる手法の検討が必要です。

事務事業分析シート

2018/6/29:40

所属名	土木部 道路室	事業名	街路樹等維持管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00727				

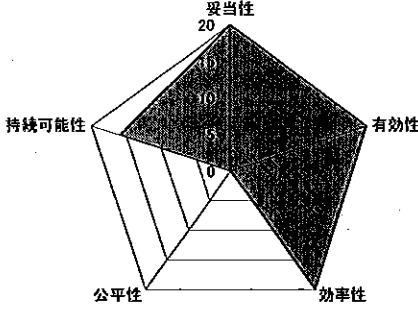
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
(5) 持続可能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的な比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	土木部 道路室	事務事業番号	00727
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>街路樹は景観向上、環境保全、緑陰形成、交通安全、防災等に係る多様な機能を有しています。地球温暖化問題が深刻化する昨今、都市域の街路樹には二酸化炭素の吸収源として期待されており、必要不可欠な事業です。都市計画道路や開発等により年々管理面積は増えていきます。また、樹木の巨木化や老朽化により倒木、落枝等により市民の生命、財産を奪う恐れもあります。平成29年度には緑化基金で危険木等の剪定をしましたが、今後適切に維持管理していくには適切な予算確保が必要不可欠です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
14時23分56秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00728	草花等維持管理事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	50	安全で快適な道路整備							
予算事業	10739	01	08	05	07	01	02	01	草花等維持管理事業（緑化維持費）
所属長	長 紳一郎			担当者（内線）谷口英之（IP501-106）					
根拠法令等	道路法								
事業開始年度	不明	直近の改正			なし				
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	緑地、花壇		
目標	緑地、花壇の良好な維持管理		
結果	快適な道路交通環境が得られる		
事業概要	道路管理区域の花壇の草花植付及び維持管理		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(公社)吹田市シルバー人材センター
		委託先②	(一社)吹田市障がい者の働く場事業団
		委託先③	
	主な委託内容		緑地と花壇に草花植付及び維持管理
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	10,163	10,147	10,163	10,155	10,776
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	2,416	2,416	2,384
総事業費(A+B)	12,614	12,517	12,579	12,571	13,160
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	12,614	12,517	12,579	12,571	13,160
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	12,614	12,517	12,579	12,571	13,160
財源計(G+D)	12,614	12,517	12,579	12,571	13,160

所属	道路室
事務事業番号	00728

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	各花壇に植付した草花株数	株	目標値	58,664.00	58,664.00	60,627.00
			実績値	58,664.00	58,664.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	植付予定草花株数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.21	0.21	
			一般財源(千円)	0.21	0.21	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	花壇の草花の植付及び維持管理	目標	快適な道路交通環境
成果内容	道路美化促進	達成状況	道路管理区域の花壇の適正な維持管理

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	道路環境の美化及び憩いを提供しており、吹田市シルバー人材センター（高齢者等の雇用の安定等に関する法律）及び吹田市障がい者の働く場事業団（障害者優先調達法）との委託により安価で執行できており、今後も継続していかなければならない事業である。

## 事務事業分析シート

所属名	土木部 道路室	事業名	草花等維持管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00728				

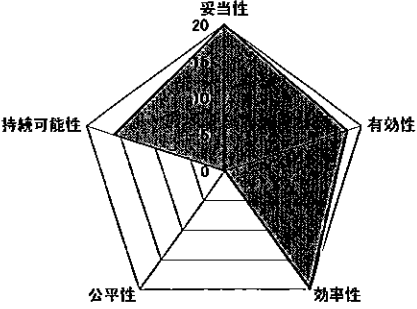
## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	土木部 道路室	事務事業番号	00728
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>道路環境の美化及び憩いと潤いを提供しており、吹田市シルバー人材センター(高齢者等の雇用の安定等に関する法律)や吹田市障がい者の働く場事業団(障がい者優先調達推進法)との委託により財源的にも有利であり、今後も継続していかなければならない事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 8日  
11時55分20秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00729	交通バリアフリー道路特定事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	30	誰もが安全で快適な交通環境づくり							
予算事業	11374	01	08	02	06	02	01	01	交通バリアフリー道路特定事業（交通安全施設整備費）
所属長	長 紳一郎				担当者（内線）鳥越 満広（IP501-103）				
根拠法令等	高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、道路法								
事業開始年度	平成16年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	交通バリアフリー基本構想に基づく重点整備地区内の特定経路、生活関連経路等		
目標	駅から周辺の主要な施設まで及びそれらの施設間の移動に利用する経路のバリアフリー化		
結果	経路のバリアフリー化を促進することにより、利便性及び安全性を向上し、高齢者や障がい者なども含めた、あらゆる人たちが自立した日常生活及び社会生活を営むことができる社会を構築することができる。		
事業概要	交通バリアフリー基本構想に基づく重点整備地区内の特定経路、生活関連経路等のバリアフリー化整備		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	中央開発㈱ 関西支社
		委託先②	企業組合一級建築士事務所ひと・まち設計
		委託先③	
	主な委託内容		工事の設計、用地取得に伴う不動産鑑定
	□ 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
■ その他	内容	請負工事による市施工	

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	86,409	97,449	122,132	38,563	46,969
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	90,494	101,399	126,158	42,589	50,942
特定財源(C)	23,760	13,200	9,000	0	2,310
国	23,760	13,200	9,000	0	2,310
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	66,734	88,199	117,158	42,589	48,632
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	66,734	88,199	117,158	42,589	48,632
財源計(C+D)	90,494	101,399	126,158	42,589	50,942

所属	道路室
事務事業番号	00729

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	交通バリアフリー化の整備路線数	件	目標値	6.00	3.00	0.00
			実績値	5.00	2.00	
			達成度(%)	83.30	66.70	
目標値の積算方法	実施計画に基づく整備路線数 (設計、工事等の路線数合計)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	20,279.80	21,294.50	
			一般財源(千円)	17,639.80	21,294.50	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	特定経路、生活関連経路等のバリアフリー化整備を行う	目標	道路施設機能の改良を行い、安全で快適な道路環境整備を促進して、社会生活の安全性及び利便性の向上を図る。
成果内容	高齢者、障がい者等の移動の利便性及び安全性を向上させることができ、さらには、自立した日常生活及び社会生活を営むことができる社会を構築する。	達成状況	平成29年度末現在、バリアフリー化整備率は52.1%。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費の評価】事業費は、増額を検討する必要がある。事業としては、平成32年度末までに原則全ての移動等円滑化を実施することとなっているため。</p> <p>【今後の方向性】事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、事業費が低いことにより活動量が確保できていないため、拡充が必要である。</p>		

## 事務事業分析シート

所属名	道路室	事業名	交通バリアフリー道路特定事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00729				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
c. 事業の進捗はかなり遅れている。(1点)	1点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	道路室	事務事業番号	00729
-----	-----	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>バリアフリー基本方針において、生活関連経路を構成するすべての市道のバリアフリー化の目標年度を平成32年度末としているが、財源等の問題により平成29年度末時点でバリアフリー化整備率は52.1%となっており、今後重点的に取り組む必要がある。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>平成29年度末時点で、吹田市内の生活関連経路等に指定されている国道・府道のバリアフリー化整備率は100%となっている。</p>
--

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
14時25分13秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00730	緑あふれる未来サポーター事業（道路）							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	04	景観に配慮したまちづくり							
細節	20	景観形成への啓発・支援							
予算事業	11423	01	08	02	02	04	01	01	緑あふれる未来サポーター事業（道路維持費）
所属長	長 紳一郎				担当者（内線）眞鍋忠克（IP501-106）				
根拠法令等	道路法								
事業開始年度	平成16年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	地元自治会、市民グループ、市管理道路		
目標	道路の美化推進と市民参加の推進		
結果	地域の道路環境が向上し、愛着の持てる道路となる		
事業概要	地域市民参加を拡大し、その活動力を源とし、活動の輪を広げ清掃活動等による道路美化を推進し、道路環境の向上を図る		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	協定締結団体による美化活動の実施	

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,505	3,519	4,115	2,743	4,204
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	5,139	5,099	5,726	4,354	5,793
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	5,139	5,099	5,726	4,354	5,793
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,139	5,099	5,726	4,354	5,793
財源計(C+D)	5,139	5,099	5,726	4,354	5,793

所属	道路室
事務事業番号	00730

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	新規認定団体数	団体	目標値	6.00	5.00	1.00
			実績値	2.00	0.00	
			達成度(%)	33.30	0.00	
目標値の積算方法	過去二年実績平均値の倍増を目標値とする。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,549.50	0.00	
			一般財源(千円)	2,549.50	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	活動団体数	団体	目標値	47.00	48.00	43.00
			実績値	43.00	42.00	
			達成度(%)	91.50	87.50	
目標値の積算方法	前年度末時点活動団体数+新規認定団体数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	118.58	103.67	
			一般財源(千円)	118.58	103.67	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	花壇管理を希望する団体が増えているが、予算が不足しているため適正な予算額の要求を行っていく必要がある。また、各団体の高齢化が進んでおり新規活動参加者の確保を考えていかなければならない。道路美化及び道路環境の向上については、市民の意識が年々高まっており市民参加の清掃活動は、道路美化を行う上で重要と考えており、費用対効果としては不法投棄の減少、道路美化、市民意識の向上等様々な効果があげられる。

## 事務事業分析シート

所属名	道路室	事業名	緑あふれる未来サポーター事業	事業区分	その他
事務事業番号	00730				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	82	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	道路室	事務事業番号	00730
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>花壇管理を希望する団体が増えているが、花苗購入予算が不足しているため要求していきたい。また各団体の高齢化が進んでおり新規活動参加者の確保を考慮していかなければならない。道路美化及び道路環境の向上については、市民の意識が年々高まっており市民参加の清掃活動は道路美化を進めるうえで重要と考えており、費用対効果として不法投棄の減少、道路美化、市民意識の向上等様々な効果があげられる事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
14時25分43秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01103	道路経常管理事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	50	安全で快適な道路整備							
予算事業	10669	01	08	02	02	01	01	01	道路経常管理事業（道路維持費）
所属長	長 紳一郎							担当者（内線） 真鍋忠克（IP501-106）	
根拠法令等	道路法								
事業開始年度	不明	直近の改正		なし					
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	主要道路施設		
目標	道路施設の適正な維持管理		
結果	道路の安全な通行と主要道路施設の適切な維持管理		
事業概要	主要道路施設の維持管理のための光熱水費、委託料（地下道排水ポンプ、地下道電気設備、エレベーター、エスカレーター等の点検及び駅前の清掃等）、消耗品の購入		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	総合建物管理㈱
		委託先②	大阪高速鉄道㈱
		委託先③	東芝エレベーター㈱ 他
	主な委託内容		地下道排水ポンプ保守点検、電気設備保守他
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
■ その他	内容	エスカレーター等の電気料金、水景施設の水道料金の執行等	

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	153,725	138,392	155,292	143,871	158,740
人件費職員数(人)	7.20	7.20	5.70	5.70	5.70
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	58,824	56,880	45,897	45,897	45,287
総事業費(A+B)	212,549	195,272	201,189	189,768	204,027
特定財源(C)	6,588	6,497	6,668	6,612	6,672
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	6,588	6,497	6,668	6,612	6,672
市負担(D)	205,961	188,775	194,521	183,156	197,355
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	205,961	188,775	194,521	183,156	197,355
財源計(G+D)	212,549	195,272	201,189	189,768	204,027

所属	道路室
事務事業番号	01103

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	主要道路施設の維持管理及び管理用消耗品の購入	目標	道路施設の適正な維持管理
成果内容	定期的な保守点検等により道路施設の安全、快適な環境を確保している	達成状況	安全性が確保されている

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	道路施設維持管理の光熱水費や委託料が主な事業内容であり、適正な維持管理を行い安全を維持していくために必要な事業である。

## 事務事業分析シート

所属名	道路室	事業名	道路経常管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01103				

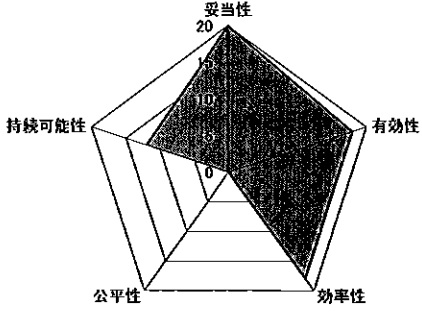
## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内特例市(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	道路室	事務事業番号	01103
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>道路施設維持管理の光熱水費や委託料が主な事業内容であり、今後、道路施設の多様化やエレベーターやエスカレーターの管理台数の増加により費用は増加傾向である</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 7日  
14時26分15秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0011020000	道路室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01456	道路ストック総点検事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり		
細節	50	安全で快適な道路整備		
予算事業	11382	01	08	02
所属長	長 紳一郎	02	05	01
根拠法令等	道路法	01	道路ストック総点検事業（道路維持費）	
事業開始年度	平成25年度	直近の改正 なし		
改正内容	なし			
市単独事業区分	○ 全部 ● 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり） 防災安全社会資本整備総合交付金			

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	緊急交通路及び幹線道路にある橋梁、舗装、その他の道路附属物		
目標	道路利用者及び第三者への被害の防止		
結果	橋梁、舗装及びその他道路附属物の状況把握と被害の未然防止		
事業概要	老朽化が進む道路ストックの損傷状況を把握するための点検を実施し、危険性の有無を判定する		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(公財) 大阪府都市整備推進センター
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	点検調査
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	46,087	40,756	31,270	24,709	35,595
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	50,172	44,706	35,296	28,735	39,568
特定財源(C)	19,800	15,400	12,000	12,100	3,762
国	19,800	15,400	12,000	12,100	3,762
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	30,372	29,306	23,296	16,635	35,806
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	30,372	29,306	23,296	16,635	35,806
財源計(C+D)	50,172	44,706	35,296	28,735	39,568

所属	道路室
事務事業番号	01456

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	橋梁定期点検、大型カルパート定期点検	目標	老朽化が進む道路ストックの損傷状況を把握するための点検を継続して実施する
成果内容	市管理橋梁を平成30年度までに点検を行う	達成状況	平成29年度は78橋点検実施

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適当である。なぜなら、計画に沿った法定点検が実施できているためである。事業費削減及び財源確保に向けた取組として、対象範囲の見直し及び担い手の見直しが必要である。具体的には、一部構造物の職員による点検の実施による事業費の縮減である。しかし、現状の人員体制を加味すると、実施に際して再考の必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続がすべきである。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	道路室	事業名	道路ストック総点検事業	事業区分	その他
事務事業番号	01456				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	道路室	事務事業番号	01456
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>道路ストックの老朽化が徐々に進んでいく中で、現状の施設の点検を行うだけでなく、今後はその点検結果に基づき、各施設において効率的で効果的な維持管理を計画的に行っていくことが必要であると思われます。また、点検後に補修が必要と判断された施設において、それらの補修費用の確保が今後の課題になってくると考えられます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

道路法施行規則の改正(平成26年7月1日施行)により、橋梁・トンネル等は、5年に1度、近接目視による全数監視の実施が義務付けられたため、今後は橋梁等の点検において、実施時期の全体調整が必要となってきます。